

はじめの一步①

8月3日(木) ~ 8月4日(金)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	レクリエーション	キャンドルファイア
2日目	野外炊飯・思い出工作	施設を出発・解散	

一日目: 朝から「おはようございます！」と元気な声が聞こえてきました。各集合場所よりバスや電車で尼崎駅に向かいます。全員揃うと、緊張とワクワクが入り混じった感情が皆さんの表情から伝わってきました。早速グループ発表を行い、二日間一緒に過ごすメンバーと対面します。今日から一泊二日どんなことが待っているのか、期待に胸を膨らませながらグループごとにバスに乗り込みました。施設に向かう道中は、自己紹介やミニレクリエーションを行い、お互いのことを少しずつ知っていく時間となりました。その一方で、施設に近づくにつれて徐々に雲行きが怪しくなり、施設に到着後、本格的に雨が降り始めました。そのため、楽しみにされていた川遊びは中止せざるを得ませんでした。川遊びに充てていた時間は、【室内レクリエーション】に変更し、グループ対抗でゲームを行いました。バンダナリレーとX人Y脚を行い、よりグループの団結が深まったようでした。夕食は食堂でいただきました。バイキング形式になっており、皆さん盛沢山食べておられました。入浴で一日の疲れを取りリラックスした後は、お楽しみの【キャンドルファイア】です。キャンドルの明かりのみで室内を照らし、リーダーが行うレクリエーションをみんなで楽しみました。慣れないイベントでの疲れからか最後は眠気がピークに達している方もおられました。キャンドルファイアが終了次第、素早く部屋に戻って就寝準備を行い、明日に備えて眠りに就けられました。



二日目: おはようございます！最終日のためゆっくり起床とはいかず、身支度を整えたらすぐに清掃を行いました。リーダーの声掛けのもと、使用した部屋や共有スペースを綺麗にしました。その中でも高学年のメンバーは、率先して出来る事を探して動いておられ、低学年メンバーの良きお手本となっておられました。清掃後、みんなで朝食の【パックドッグ作り】を行いました。メンバー同士距離が縮まってきたようで、どのグループも和気あいあいと作っておられました。完成し、焼きたてのパックドッグを美味しくそうに頬張ると、自分で作った朝食に達成感を感じておられる様子でした。朝食の片付けを終えると、あっという間に最後のプログラム、【焼き板工作】の時間です。初めて扱うガスバーナーに緊張されながらも、丁寧に焼き上げておられました。たわしですすを落とした板には、二日間の思い出の絵を描いていきます。絵を描いている最中は、グループ内で自然と思い出話に花が咲いていました。昼食は食堂でいただき、みんなで食べる最後の食事を楽しみながら、残さず食べきっておられました。そして、いよいよ施設を出発する時間がきました。お世話になった施設へいっぱい大きな声でお礼の挨拶をし、二日間の思い出をかばんに詰めて施設を後にしました。最後は、尼崎駅にて全体解散式を行いました。「まったねえ〜！」と挨拶をして再会を誓い、それぞれの帰路に就けられました。



<キャンプ総括>

この度は、「はじめの一步①」にご参加いただき誠に有難うございました。一泊二日はあっという間だったと思いますが、参加者の皆さんの中で少しでも成長や達成感を感じる瞬間があったなら、それが大きな一歩だと思います。活動場所となった曽爾高原の天候は変わりやすく、施設とも話し合いを行った上で、今回は一日目の川遊びを中止し、キャンプファイアは室内でのキャンドルファイアに変更致しました。変更することをメンバーに伝える時は大変心苦しかったですが、多くの方が不満よりもすぐに納得し、気持ちを切り替えて代替プログラムに取り組まれていました。そこで、参加者一人一人が、プログラムのみでなく、一緒にキャンプをしているメンバーやリーダーと過ごす時間をしっかりと楽しんでいるということを感じました。その過ごした時間の思い出を胸に、今後また新たなキャンプに挑戦していただければ嬉しいです。

(生田 千恵)